

09の講義内容 人物はどのように描けるか

—生活の中での日本語をもとに—

萩原 義雄

一 幼稚園での敬語事情

丁寧語「お」の過剰物言い(幼稚園での先生の児童たちへの呼び掛け表現)

「はい、いいですか。これからお絵かきします。お道具を渡しますから、先生のところにお集りしましよ
う」

「さあ、次はお遊戯ですよ。おりこうさんだから静かにお並びしてね」

「お庭のお犬にお菓子をあげましょうね」

家庭での美化語としての「お」と「は」

お茶, お魚, **おひや(水)**, お腹(はら), お食事, 御飯(めし), ご褒美,

おひや【冷水】

和泉流狂言「お冷やし」主人(アド)と太郎冠者(シテ)の会話

アド「あれへいて、お冷やしをむすんでい」

シテ「なにがどうじゃと仰せられる」

アド「いやあの滝のお冷やしをむすんでこいというのじゃ」

シテ「あの滝の水を汲んで来いと仰せらるることか」

アド「なかなか」

シテ「水ならば水汲むでよいことを。お冷やしをむすべ」ト云テ笑フ

アド「それは汝が何も知らぬによつてじゃ。皆上々内裏方の上臈達はお冷やしをむすぶとこそ仰せられて、水をくむなどとは仰せられぬ。そちも今からいひならへ」

シテ「もつとも上々の上臈達や稚児若衆等はお冷ともむすぶとも仰せられうが、お前の様な大きな口から」ト云テ笑フ

飯を食う(男性表現)↓御飯を食べる⇨お食べ(女性表現),

腹へこだ(男性表現)↓お腹がすいたわあ(女性表現)うまい

(男性表現)↓おいしい(女性表現)：味噌汁の宣伝での男(村野武範)女(酒井和歌子)の会話

謙讓語

「どちらにいたしますか?」↓「どちらになさいますか?」

「とんでもありません」↓「とんでもありません」↓「とんでもなう」

「やる」と「あげる」(謙讓語)

童謡『桃太郎』の二番の歌詞は？

「 ましよう ましよう　これから鬼の　征伐に　ついて行くなら ましよう」

「犬にえさを 」

「花に水を 」

「うちの子のオムツを取り替えて たら・・・」

変な敬語：落語「松引き」

家来田中三太夫から丁寧にもを言えと言われた植木屋が殿さまの質問に答える場面。

恐れながら申し奉りますが、ただいまお聞き申したところのお築山さまのお松のところをお泉水さまの側「わき」へお引き奉りますと、お松がお泣き遊ばすか遊ばさないかということでごさいまするが、移り奉りますには、ソノお油かすの五升もお盛り下さつて、小太い根へするめをお巻き遊ばしてお引きになれば、お枯れる氣遣いがございませんと心得るのでござり奉りますので……

※この表現は、どこがまちがっているのだろうか？

A 動詞の敬語には二つのタイプがある。1は暗唱する表現、2は便利な敬語表現

一般動詞

尊敬

謙讓

丁寧

1 言う

↓おつしやる

申す、申し上げる

申す

行く

↓いらつしやる

まいる

まいる

おいでになる

うかがう

お越しになる

する

↓なさる、あそばす

致す

食べる

↓召し上がる、あがる

いただく、頂戴する

いただく

2 話す↓お話しになる、話される、

話していただく

お話し(して)下さる

お話し申し上げます

お話しいたす

お話しする

B 方言と敬語は？

西高東低型(身分階級・男尊女卑の社会での長い関係が生み出したことば表現)

大阪　：書かはる↓書きやはる↓書きなはる

鹿児島：書かる　↓書きやる　↓書きゃんす

C 「はい」「いいえ」は丁寧な表現への始まりでもある。

二 インテリ女性がお母さん

女性の和語から漢語使用へ

「男子は長髪は禁止(駄目)なんでしょ(視覚表現)」「男の子は長い髪はいけないのでしょ(聴覚表現)」

「他人の文章をまるで自分の考えのように追っていくわけでしょうか? 1日何時間も、まるで自分の執筆のように。他人の思考回路に同調するのよね。それって、妙なものよ。違和感がないところまで入っていきたりしてね。どこまでが自分の考えなのかわからなくなったり、普段の生活にまで人の思考が混入していたりね。影響力の強い人のものを訳していると、ただの読書の何倍もひっぱられるわよ。」「吉本ばなな『N・P』一四二頁」

「子育ては試行錯誤の連続よ。」「吉本ばなな『N・P』一四三頁」

平安時代の女流文学者紫式部、清少納言であっても漢語使用量は、どのくらい?・

『源氏物語』帚木の巻・雨夜の品定め(学者の娘が大声で格式ばって話す表現)

「つきごろふびやう【風病】おもむきにしたへかねて、いくねち【極熱】の草葉を服【ぶく】していとくさきによりなむ、え対面たまはらぬまのあたりならずともさるべからむ ぎょうじ【雑事】らはうけたまはらむ」

「その他の漢語表現」

あいぎょう【愛敬】。あうむ【鸚鵡】。あんない【案内】。うしん【有心】。ごうとう【強盗】。こうじよう【考定】。こうみよう【高名】。がくもん【学問】。ごうし【合子】。きちよう【几帳】。ぎようこう【行幸】。きようけい【行啓】。ぎょうじ【行事】。くどく【功德】。くのう【苦惱】。くよう【供養】。かんにん【官人】。がんもん【願文】。げこう【下向】。けしよう【化粧】。けちえん【結縁】。げぼん【下品】。けんぎ【嫌疑】。けんそ【見証】。やこう【夜行】。

三 おしゃべり文章と漫画世代の子供

明治の言文一致運動・二葉亭四迷『浮雲』

現在の言文一致文章・漫画の会話表現をそのまま使用「絵画情報処理」テレビの代用品

1 象徴表現

電話の発信音「トゥルルル」「ルロロロ」

ドアホーンの音「ピンポーン」

車の発進音「ドキュウウウーン」「ドッヒューン」(F—MEGA)、「バイイインシン」

光輝くまぶしさの情態「バアアアッ」

虫の動きの情態「うぞうぞ」

※母音「e」は品がよくない。子音「k, t」は堅さ、「s」は摩擦感、「m」は柔らかさ、「h, b」は抵抗感のなさ、「r」は粘った滑らかさのイメージ

2 符号表現

「ルンルン」

「助けて！」

3 省略表現

「ぎけんじゃねーよー!」↓「ぶぎけるじゃねーよー!」

「ったく!」↓「まったく!」

「んで?俺にどーしろっていうわけ?」↓「それで?俺にどーしろっていうわけ?」

四 子供のことは家庭の鏡

子供は大人の模倣によつてことばを覚え、鸚鵡返しに話し出す。

子供が三歳になったらことばづかいに気をつけよう。

挨拶ことばと表現

「行ってきます」↓「行って参ります」：「行ってらっしゃい」

「ただいま」↓「ただいま戻りました」：「お帰りなさい。(今日はどうでした?)」

「ありがとう」↓「ありがとうございます」：「はい」「いいえ」

「いただきます」：「召し上がれ」

「ちそうさま」：「おいしかったですか?」

「お休みなさい」：「はい、お休みなさい」

五 ふだん語(方言)とよそいき語(共通語)

家庭で育むくつろぎのあることば⇨方言(母乳語)「三つ児の魂百までも」とその表現
社会での共同生活に必要なことば⇨共通語(離乳語)

母乳語⇨基本言語ですが具体的に特徴があるのが特徴。見たり、聞いたり、さわったり、口に入れたりできる経験

象徴を表す。現実と対応している。つまり、母乳語では嘘をつけない。

離乳語⇨記号言語、経験と照応しない言語、嘘をつける言語。⇨おとぎ話し(童話)

⇨エピソード・コラム

⇨母乳語だけで甘えていると喧嘩が生じる。鹿児島島の若者が青森の人に母乳語で「そのナイフくれる(貸してくれ)」と言う、ところがいきなり自分の大事にしているものを「くれる(欲しい)」とは何事だと口喧嘩に発展した。

⇨自衛官の話

⇨「まんじ、おもしろいぐねえ」↓「どういば、いいや」(山形県温海温泉)

耳訳：まあ、面白くないわ、どうしたら良いかしら

真訳：何という うれしさ、どうしたら良いかしら(36年ぶりに同級生に出会って)

NHKテレビ番組による方言回帰「チョッチャン」(北海道弁)

「お晩です」

○おがる「生える」

「ながまりなせえ」

「あずましくねえ—」

「しばれたあ—」

「ばくる」

バクロウ(馬喰)伯樂 戦国の時馬を相する人也。是に由つて日本には馬の病を医人を伯樂と云う。
馬医師(動物の病気の治療をする人) || 馬の良否を識別できる者 || 博労 || 馬牛を商売する商人
バクロ(交換する意) || バクル 青森・岩手・秋田・福島・長野・対馬・北海道

「雲のじゅうたん」(秋田弁) TBS『絹の家』(信州弁)

六 伝言を書くことと読むこと

留守をする際、必ず家族の者に伝言を残そう。「用件をわかりやすく書くコツでもある」

言いにくいことでもメモで一言

お帰りなさい。お仕事お疲れさまでした。ちよつと熱があるので早く休みます。ごめんなさい。お食事は、冷蔵庫の中にあります。レンジで温めて召し上がって下さい。

来週の日曜日には遊園地に行こうね。

七 文章の集約表現と訓練

課題 次の文章(一三〇字)をもとの意味をなるべく残すようにして一〇〇字、八〇字、六〇字、四〇字の文章と書き改めてください。

《例文》

王様は或る日御殿で賑かな宴会を開いていた。それは夏の夕方のことだった。広い美しい庭の噴水の傍に立派な椅子を出して王様はいい気持ちで椅子にもたれて庭の景色を眺めたりお酒を飲んだりしていた。その傍には大勢の王様のお気に入りである家来たちが王様の御機嫌をとりながらひかえていた。